



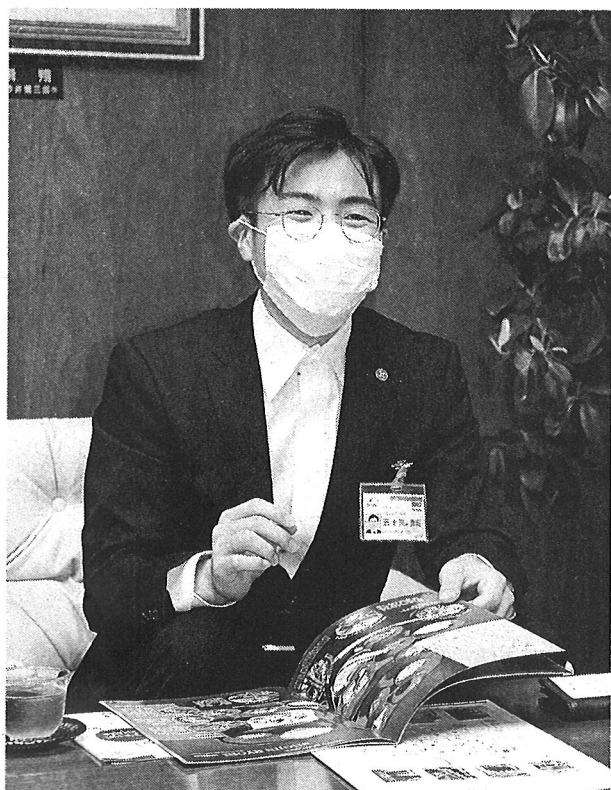
卒業生の活躍

青年海外協力隊でルワンダへ

平成24年度 普通科卒 五十嵐さん

現地の人の生活向上を目指す

青年海外協力隊
鶴岡の五十嵐さん
ルワンダ派遣前に抱負



国際協力機構（JICA）の青年海外協力隊として8月から、アフリカ中央部に位置するルワンダへ派遣される五十嵐貴昭さん（28）＝鶴岡市茅原町＝が15日、鶴岡市役所を訪れ、皆川治市長に抱負を語った。

五十嵐さんは朝陽三小、鶴岡二中、鶴岡中央高、亜細亜大国際関係学部卒。昨秋まで日本赤十字社茨城県支部に勤務した。大学生時代にフィリピンのスラム街

を訪れたことがきっかけとなり、国際協力業務に関心を強め、日赤に就職。さらに見識を深めようと、青年海外協力隊に応募した。来月から2年間、ルワンダの

地方行政機関のンゴマ郡庁ムラマセクター事務所に派遣され、上水道供給の管理システムの構築や住民の衛生意識向上などに携わる。

出発を前にした市役所への表敬訪問には、JICA東北センターの村上淳・市民参加協力課長らと訪れ、皆川市長と懇談。五十嵐さんは「少しでも現地の人々の生活が良くなるように頑張りたい。日本文化の紹介にも力を入れ、これから腕を磨いて、豊富にあると

聞いていろいろ野菜で天ぷら料理をこしらえた」と語った。帰国後は大学院に進学して専門性を身に付け、国際協力業務に就くことを目指している。

の生活が良くなるように頑張りたい。日本文化の紹介にも力を入れ、これから腕を磨いて、豊富にあると

鶴岡市役所を表敬訪問し、2年間の派遣への抱負を語った五十嵐さん

皆川市長は「世界と向き合うことは素晴らしいこと。五十嵐さんの活躍が、日本、鶴岡の評価につながる。経験を鶴岡のみんなに還元してもらいたい」と述べ、激励金とともにほなむけの言葉を贈った。